

国語

5月1日(金)

きつつきの商売

P.19

音読 ●1場面を音読して、ようすを思い出そう。

だれが出てきて、どんなことがあった話だったかな？

ししゃ ●P.18の5行目(『きつつきは、』)～P.19の3行目(『すぎてゆきました。』まで)をししゃしよう。

- ① 教科書に書かれている通りに書く。
- ② 行と行の間は1行あける。
- ③ ゆっくり、ていねいな字で書く。

活動 ●まちがいさがしをしよう。

四分音符よりも長い時間がすぎてゆきました。

野うさぎは、きつつきを見上げたまま聞いていました。きつつきも、聞いていました。

ぶなの木の音が、ぶなの森になりました。

きつつきは、ぶなの木のみきを、くちびしでたたきました。

さっき、ししゃしたところと同じ場所です。言葉がぬけていたり、かわっていたりします。見つけてみよう。

活動 ●1場面のP.18の5行目(『きつつきは、』)～P.19の3行目(『すぎてゆきました。』まで)の登場人物の気持ちを考えて、書こう。

さっき、「まちがいさがし」で見つけた言葉は、気持ちを考えるときに大切な言葉です。そのぶぶんにつけながら気持ちを考えよう。「きつつきの気持ち」と「野うさぎの気持ち」考えたら、ノートに書いて、おうちの人に話してみよう。

音読 ●1の場面を音読しよう。

上で考えた気持ちを音読にいかしてみよう。

漢字 ●漢字ドリルの「館」「号」「使」「深」をれん習しよう。

「漢字ドリルの進め方」のやくそくをまもって、がんばりましょう。